

「育英小学校の中郷太鼓踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立育英小学校	
2. 学年・人数	5年生2人 6年生3人	6年生68人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年7月23日～8月12日の火曜日・金曜日 育英地区コミュニティセンター (2) 発表の日時・場所 令和6年8月18日11時 諏訪神社夏の例祭	(1) 練習の日時・場所 令和6年6月～10月の週2回 育英小体育館・校庭 (2) 発表の日時・場所 令和6年10月6日 育英小運動会
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 薩摩川内市指定民俗文化財 中郷太鼓踊り（ちゅうごうたいこおどり） (2) 由来 島津義弘公が朝鮮への出陣祝い・凱旋祝い、あるいは農村の士気を鼓舞するためとか、農作物の害虫や風水害を防ぎ豊作を祈願するためなどの諸説がある。 (3) 構成等 中郷太鼓踊りは、「小太鼓」、「大太鼓」、「鉦」の楽器からなり、小太鼓2人を先頭に、鉦が2列縦隊に続き、大太鼓が両脇に縦に並ぶ4列縦隊の隊形から始まる。小太鼓2人、大太鼓12人前後、鉦12人前後、そして、歌い手1人から構成される。太鼓、鉦の音から、地元では太鼓踊りのことを「ツシキャンキャン」とも呼んでいる。	
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	学校と保存会が連携・協力しながら中郷太鼓踊りを継承していくために、太鼓踊りの練習を6年生の「ふる・コミュ科」の中に位置付けた。また、運動会で発表できるように体制を整えた。	
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 諏訪神社夏の例祭にて奉納	 第78回育英小運動会で披露
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【高校生】 - 大きく動くことを心掛けた。暑かったが楽しかった。 【保存会会長】 - 若い子が多く参加してくれた。今後も地元で引き継いでほしい。	【児童】 - 練習した成果が出せてよかった。 - 本番が一番、上手に踊れたと思う。また、やってみたい。